

eAxle(電動アクスル)の世界市場を調査

パワートレインの小型軽量化やコスト低減が実現できるため、2020年以降に需要が急増

—2035年予測(2019年見込比)—

■ eAxleの世界市場 1,467万台(293.4倍)

～中国を中心に需要が増加。以降順調に拡大～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、小型軽量化や部品点数の削減によるコスト低減や、xEV開発の効率化が可能になるため、今後の需要増加が期待されるeAxleの世界市場を調査した。その結果を「[「機電一体電動パワートレイン”eAxle”の2035年までの市場展望](#)」にまとめた。また、EV駆動輪の内側に設置される電気モーターで、操作性やエネルギー伝達の向上を可能とするインホイールモーターの市場についても捉えた。

<調査結果の概要>

■ eAxle(電動アクスル)の世界市場

	2019年見込	2035年予測	2019年見込比
全体	5万台	1,467万台	293.4倍
中国	4万台	613万台	153.3倍
欧州	僅少	679万台	—

※中国、欧州は全体の内数

駆動用モーター、インバーター、ギアボックス(減速機、デフ、ハウジング)が一体化したeAxleを対象とする。欧米メーカー数社や、一部の日本メーカーが先行して展開している。電動パワートレインの開発が遅れている中国自動車メーカーなどを中心に、細かな調整が不要で低コスト、かつ、スピーディーにxEVの開発が可能となるため需要が高まっている。

2019年から中国を中心に市場は形成されており、短期的には中国が拡大をけん引するとみられる。中国自動車メーカーのパワートレイン開発は欧米や日本に比べて遅れており、自動車メーカーによっては全面的に外部委託するケースもみられるため、eAxleのニーズは高く採用計画も進んでいる。

2020年以降参入メーカーが増加するものの、当面の需要は限定的であるため、2024年頃までは大幅なコスト削減は難しいとみられる。中国自動車メーカーに加え、徐々に48VマイルドHVなどで欧州自動車メーカーの採用も増えるとみられ、2025年には100万台を突破し、量産化に伴う価格低下の進展が期待される。以降市場は急拡大するとみられ、2035年の市場は1,467万台が予測される。

世界的なxEVの需要増加に伴い、様々な車両に適合しやすいeAxleの採用も増えるとみられる。また、カーシェアリングの普及拡大により、新たにxEV専門の自動車メーカーなどが登場すれば、xEV開発の時間が短縮できるeAxleの需要はさらに高まると期待される。当面はEVでの採用が主流となるが、HVでも採用が進めば、アジアをはじめとした新興国でeAxleを搭載した低価格HVの普及が進み、さらなる市場拡大が期待される。

出力別では、中国向けの150kWモーターが中心となっている。今後、参入するeAxleメーカーも同クラスの製品投入を計画しており、中国で需要の高い中・小型SUVなどのEV向けの150kWの需要が増加するとみられる。また、99kWまでの小型モーターは4WD車の前後輪への装着のほか、2025年以降はEVやPH

Vだけでなく、48VマイルドHVでも需要増加が予想される。より高出力なモーターは、スポーツカー（高加速・高速度EV）などの特定需要に限定されるとみられる。

<調査対象>

機電一体パワートレイン	eAxle（電動アクスル） インホイールモーター
対象車両	HV、PHV、EV、48VマイルドHVの乗用車 ※48V未満のマイルドHV、電動トラック・バス、電動小型モビリティは対象外
エリア	日本、北米（カナダ、米国、メキシコ）、欧州（EU27か国、英国、EFTA） 中国、その他

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2020年1月～2月

以上

資料タイトル	「機電一体電動パワートレイン” eAxle” の2035年までの市場展望」		
体裁	A4判 49頁		
価格	PDF版 300,000円+税		
発行所	株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通 TEL: 03-3664-5811 (代) FAX: 03-3661-0165 URL: https://www.fuji-keizai.co.jp/ e-mail: info@fuji-keizai.co.jp		
調査・編集	名古屋支社 TEL: 052-684-9250 FAX: 052-961-4811		
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: https://www.fuji-keizai.co.jp/press/			